

## 第29回ゴミパイプライン協議会

会議名	: ゴミパイプライン協議会
開催日時	: 2020年3月28日(土) 10:00~11:00
場所	: 芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会より	: 山口委員長, 友田副委員長, 春木委員, 大永委員, 三浦委員, 大田委員
市より	: 森田部長, 藪田課長, 尾川係長(司会進行), 林課員
傍聴者	: 2名

司会	<p>それでは定刻になりましたので、第29回ゴミパイプライン協議会を始めさせていただきます。今日は環境施設課の尾川が司会をさせていただきます。</p> <p>今日の会議は、新型コロナの関係で前に書いていますが、事前に体温を測っていただいて、平熱以上の場合は出席しない。次に、皆さんマスクを着用する。そして、このようにして部屋の換気を行いながら会議を行うと。座席についても、通常より間隔をあけて、離れて座ってもらうようにしています。</p> <p>そして、今回は、マイクを使わないこととします。また、他の人の発言中にかぶせてしゃべるといのは御遠慮ください。一人一人、マイクがあるときと同じように、名前を名乗っていただいてから発言するという形をお願いします。</p> <p>会議時間に関しましては、今回は1時間とし、11時までに終わらせるようにします。そのため資料は事前配布しています。今回は手短かに会議を終わらせたいと思います。</p> <p>それでは、早速、次第に沿って進行していきます。</p> <p>まず1番、パイプライン運転報告について、資料1、林から説明します。</p>
市	<p>おはようございます。芦屋市の林です。パイプライン運転報告について、事前に資料はメールで皆さんに送らせていただいております。簡単に御説明させていただきます。</p> <p>期間としては1月20日から3月18日までの報告になります。1枚目をめくっていただきまして、今回、レベルで言いますと、レベルA、センターにおいて遠隔操作で回復したものが全体25件中16件、レベルBの現場で作業したものが25件中9件となります。</p> <p>このうち、朝の定期運転及び夕方の自動運転の際に発生したものが25件中15件ありました。</p> <p>また、今回資料のナンバーでいうと24番、3月13日金曜日、11時10分、ローカル、陽光町、投入口番号が33038、ドラム、呑込異常。これに関して、作業としては、ごみの除去、ドラム正転・逆転で解消して復旧しましたが、私と尾川で現場に行きまして中身を確認すると、事業所兼住宅から出た事業系ごみと思われるごみがあり、住所等が分かりましたので、そこへ伺って話をして、事業系ごみは持ち帰ってもらいました。</p> <p>続きまして、利用者からの連絡対応ですが、すみません、事前にお送りした資料の一部に間違いがありまして、ナンバーでいくと6番ですけども、これ住民起因で星印ついています</p>

	<p>が、これは間違いです。すみません。住民起因ではありません。</p> <p>トラブルに関してのほとんどが現場対応で、開で放置、あと、バケット下のごみ詰まりが多かったです。</p> <p>最後のページです。巡回及び定期点検で発見された不具合点等。巡回点検をほとんど月曜日にしているの、月曜日に巡回した際に発見したトラブルになります。部品の交換が多いです。</p> <p>以前から話をしています高浜町9番の件、投入口番号で言いますと4029、スクリュウ異音の件ですけども、資料の一番下に、これは現在も継続して対応中ですので、このような形で記載しております。状況はワーキンググループ等でも随時報告等させていただいております。今は、装置を製造したメーカーや設置業者と協議してまして、それ以外の業者にも声をかけて現場等を見てもらって、補修方法等を検討しているところになります。運転報告から以上になります。</p>
司会	<p>それでは、今の議題1、これについて何かある方いらっしゃいますでしょうか。はい、春木さん。</p>
利用者の会	<p>春木です。御苦労さんです。</p> <p>毎回、連絡してもらっているんですけど、ちょっと気になっているところが、このシステム異常発報対応で、あのドラム、これ南芦屋浜のほうですけど、ドラムの異常がやっぱり多いですね、25件中7件ということで、3割ぐらいがドラムの異常で、そのうち現場確認しているのが5件。したがって、これは非常に多いですね。</p> <p>この辺が気になっているのが、その設備の異常なのか。例えば、ギャップがちょっと狭くなってきているとか、段差がついてきているとか、その辺のさび等々があって引っかかったりして起こってきているのかということですね。</p> <p>それから、ナンバー24については住民起因ということで答えてもらったのでよかったのですが、その辺がちょっと気になっていますので。今後ぜひ、中に入るときには、その辺もチェックをお願いしたいなと思います。</p>
市	<p>はい。そうですね、南芦屋浜に設置しているドラムのトラブル、呑込異常が多いですけども、それについてちょっと僕のほうで、どういった形で発生するのかというのをまとめています。設備の面からと、使っていく方々の面からと、どうすれば解決できるかというのは、また、ワーキンググループで話し合っていきたいなと思っております。</p>
利用者の会	<p>そうですね。ぜひお願いします。</p>
市	<p>はい。</p>
利用者の会	<p>それで、呑込異常も住民起因であるならば、その辺のことだけ。</p>
市	<p>そうですね。現場で、正転・逆転の際に何か異常なものが出たら、私に連絡するように言っていますので。</p>
利用者の会	<p>そうですね。はい。よろしくお願いします。</p> <p>それと、次のこの利用者からの連絡対応ですけどね、これもう毎回毎回、再発していると</p>

	<p>思うのですけど、鍵ですね。鍵が入らない、開で放置、これが3件で33%ほど。それと、次の巡回及び定期点検でも、1件、発見していますね。開のまま放置されていたことで。だから、設備的なものとか、その辺の事情で、点検しなかった場合は、やっぱり、前も委員長が配られたと思いますけど、途中で鍵抜くなと、減っていて、すぼと抜いてしまう、鍵抜くなという、その辺、やっぱり住民の皆さんに知らせてほしいなと思うのですよ、即。</p> <p>輸送管が詰まったら、中のごみ出して、何日間か、しばらくそこへ置いてありますね、皆さんに分かるように。それちゃんと啓発チラシ、ぱと貼りますわね。それで大分ましになってきたと思うのですけど、やっぱりその辺の再発防止、ぜひお願いしたいと思います。</p> <p>それと、バケツが閉まらない、これもそうですね。これまでも何回となく起こっていますね。点検したらバケツの下にごみがずっと詰まっていたと。だけど、下まで落ちて貯留槽が満杯になってないから赤ランプついてない、幾らでも入れる。そのうちばあっと投入口まで一杯になって閉まらんようになるということで、これも過去から何回も起こっていることなんでね、この辺も鍵と併せて発生したら即、やっぱりその住民の皆さんに知らせてほしいですね。どういふものでこう詰まっていたんやと、こういうもの入れるとやっぱり再発しますということをね。その辺を設備的な異常でない限りは、やっぱり住民の皆さんにも知らせてほしいですね。できたら、鍵とかその辺の再発しているやつについては、あらかじめ啓発チラシみたいなのを作っついて、発生したらそれをぱと貼っていくというようなことで、どんな文面にするかというのはまた検討する。その辺は、ぜひお願いしたいと思います。</p>
市	<p>先ほど鍵の開異常に関しては、以前、赤いシールまで戻してという啓発チラシを作っていますので、ラ・ヴェールの投入口には貼っています。</p> <p>あと、この啓発は試行的に行っていて、どういった形で問題とか上がってくるのかというのは、またフィードバックして、ワーキンググループで皆さんと話して、今後どうしていくのかというのを話していきたいと思います。</p>
利用者の会	貼っても剥がれたら意味ないから。
市	そうですね、その辺。
利用者の会	ぜひ、よろしくお願ひしたいと思います。
市	バケツ下のごみ詰まりの件も、どうして起こるのかというのもあると思いますので、また僕のほうでまとめてみます。
利用者の会	お願いします。それとあと、これで最後ですけど、巡回及び定期点検のことですね、水中ポンプの動作不良、これ今回2回、2件発生していますけど、この動作不良とは何なんかな。例えば、サンクシヨン側にごみ入らんように、何か、網かなんか付けて、それがぱと詰まってしまうとか、いろいろあると思うのですけど。
市	そうですね。配管に詰まって、ちょっと叩いたら直ったとかあるので。それと巡回及び定期点検、定期点検って年に1回、全投入口を回るのですけども、今ちょうど回っている点検も重なっております、そのときに発見された不具合点も含んでおります。
利用者の会	そうですね、その辺ね。

市	はい。動作確認してちょっと動きが悪かったというもあります。
利用者の会	その辺ね、考えられる原因と対策ね、その辺をやってほしいなと。そやから、その辺のこと、ここへちょっと書いといてもらったら疑問点が消えるのでんやけど、その辺ちょっとよろしくお願ひしたいと思います。 あと、このスクリュウやけどね、これもう半年以上たっていますね。この辺ね、またワーキングで、また専門のプロの人に見て聞いてもうたらいと思います。やっぱり潰れてしまってからやったら費用もまた膨らんでくるしね、この辺はもうちょっと早いとこ、けりをつける必要あると思いますね。その点、またよろしくお願ひしたいです。
司会	はい。それでは、ほかに。
利用者の会	利用者の会の大田です。赤いシールが貼られているということで聞いたのですが、とこどころで、もう既に剥がれてきたということで、紙用とかのシールをそのまま屋外に貼った場合には雨風で剥がれやすいということなので、せっかく貼っていただいているなら、やっぱり強力接着剤を使用した上で貼るというようなことでやらないと、せっかく貼っていただいても無駄になると。 それと、巡回のところで見つけということで、6件中4件が一応、潮見町ということで挙がっていますけども、これ3日、10日ということで、あれ潮見のほう、重点的に手がけられたのかなと、そうではない。
市	これは点検ですね、場所を決めて順番に点検に回っていますので、その点検がたまたまこの潮見町だったということで。ここで水中ポンプを動かしてみたら、普段あんまり水が入ってこないのに動いていないところが、やってみたら動かなかったとか、そういうようなことで、今回は潮見町がたまたま点検範囲だったということです。 いや、全部回っています。巡回は、宮川を境に、西地区の人1人、東地区の人1人、で、高層1人、沖1人、4人で午前中全部回って、それで午後はそれに対してのフィードバックをして、ここはここ直そうとか、ここに行こうとか、そういった形で、月曜日によく巡回に行かせていただいております。
利用者の会	ということは、6件中4件も潮見に集中しとったということは、潮見で特に老朽化が進んでいるとか、そういうことなのですか。
市	波があると思います。たまたま今は潮見で、また次は、また違うところが出てくる可能性がありますので。
利用者の会	たまたま、こういうことになっていたということでよろしいでしょうか。
市	そうですね。逆に巡回等で見つかって、事前に補修とかできたところはいいと思っております。
利用者の会	はい。
司会	よろしいですか。はい。山口さん。
利用者の会	利用者の会の山口です。最後の、第一住宅の高浜、4029、これはずっと今までいろいろあったと思うのですが、こういうトラブルがあったときに、これをどう考えるかというのを考え

	<p>とかないと、ずるずる来て、どーんと来ちゃうのですね。ですから、例えば、もう半年間、半年を過ぎたら1年とかに区切ってね、そこでもう駄目だったら、ほかの可能性もいっぱい、これから出てくる可能性もあるので、お金かけてでもいいから、きちっと直す。で、中の機械を取り出しますから、どんな問題や不具合があるのか。今後のことを考えて、きちっとそれは調査をしていただくということで。僕はお金がかかっても、もうやらなきゃいけないという気がしているのです。</p> <p>そうしないと、みんなが知恵を回して、わあわあ言って、結局は1年過ぎてしまったということになるので、そのための予算というのも当然考えていますので、その辺はもう、例えば7月までで切って、そこで結論が出なかったら、一度きちっと作り直そうということを考えないと、恐らく、今、私の考えでは1年、2年すぐたってしまうということが1点。ワーキンググループでも検討する必要があるかもしれませんが、結論出して、やったらどうでしょうかという意見です。以上です。</p>
市	ありがとうございます。
利用者の会	<p>今のね、やっぱりスクリュウね、すごく気になっているのです。春木です。</p> <p>たしか、あの費用も最初、ワーキングで検討しやったか忘れたけど、あのときでも費用、話し合ってたけど、あのときの資料からいったら、スクリュウ型の貯留排出機という、ほら、あれ33か所って言うたかな、そやな、33か34か。で、一応、1億5,000万見込もうか言って見込んだのですね。</p> <p>そのときにも、容量別に、あのときの案は容量別に3種類あったんかな、それぞれ一式新品を買おうと。で、悪くなったらその新品とぱっと取り換えてしまって、ほんで外した旧品を点検して修理すると。で、次に備えるというようなことで話し合ったと思うのですね。せやから、その辺も含めて、あんまり長いこと置いといたら、今のやつはもう潰れてしもうて、もうどうしようもなくなる可能性もあるしね。その辺、今、山口さん言われたように、ぜひね、早く結論出して、もう半年以上たっているの、お願いします。またワーキングで。</p>
市	はい。
利用者の会	利用者の会、大田です。今の件で、ずっと長期間かかってきたということで、市として原因とこのか、長期にわたって手がつけられないというような状況。
市	以前ワーキングでお話ししましたように、いろんな方法について、模索しているようなところで。非常に時間がかかっているのは確かなので、ここに書いていますように、メーカーにこだわらず、ほかの業者にも現場を見てもらったり、分解してもらったりみたいなことも行っていますので、ちょっと今、急いでいるところです。
利用者の会	今、もう既に他メーカーに見させているということですか。
市	そうですね、はい。
司会	それでは、議題の2番目、誤投入に関して、山口さんお願いします。
利用者の会	はい。利用者の会の山口です。資料はございませんけども、4月1日から市のほうで誤投入に対してはサービスをやらないということで、これはよろしいかと思うのですが、このため

のソフトランディングとして、みんなに手伝っていただいてポスターと説明書を作って、市のほうはポスターを投入口の上の掲示板に貼っていただいた。私たちは回覧を回して、私のところは全住戸にこういうのを全部印刷して渡しました。そういうことで着々と進めている。

4月1日から市のほうに恐らく電話があると思うのですが、そのときに1つ付け加えてほしいのがコロナウイルス、新しいコロナウイルスの啓蒙ですね。私たちは今こういうマスクをつけていますが、手袋も含めて全部投入口に入れているわけですね、今は。

そうすると、それをまた取り出して開けるという作業は、非常に今は特に危険を伴う。今後とも、そういう可能性がないわけではありませぬので、そのことも含めて、もう管の中には入らないということをしていったらいいかなとは思っています。

それと、たまたまでしょうけども、誤投入のこの林さんのレポートで誤投入なかったのですね。うれしいことですね。今後ともレポートとしては電話がかかった時点で、やっぱり載せていただきたい。そうすると、ああ、やっぱり問題あるなというのがわかりますので、ぜひともデータは載せていってください。

それから、これを含めて議題の3番目も一緒なのですが、だんだんやり方が、私たちもノウハウが分かってきて、利用者に関して問題があるときにはどうしたらいいのかというのがだんだん分かってきました。

3番目も一緒にやりますけども、今日の朝もホームページを更新しまして、日にちを確認しましたら、169日間、今日含めて、今、利用者が起因するトラブルは起こっておりません。ただ、心配なのは新学期が始まりますので、また雑誌、本とか捨てる人がいるかもしれませんが、これは新しい記録かもしれないですね、今までは記録作ってないので。ですから、私たち一人一人にあつては、例のポスターと、それから発生、まず、ポスターで面を全部抑える。それから、発生したところは、各住戸に全部配ったのですね、今回。

ですから、単に投入口にポスターを貼るとか、掲示板に貼るだけでは駄目で、2番目は、発生したところの各家庭には全戸配っていくというのが非常によかったのかなという気がしています。というのが、悪気があってこれをしたのじゃなくて、御存じなくてこれを起こしたという理解していますので、きちっとしたデータに基づいて、こんなことが起きているよということで減ったかなと思っております。

今考えているのは、先ほどもあった鍵の話ですね、途中で引き抜くというのもあって、第3段階としては、もうその投入口に対応していく。ですから、発生した投入口には、その周りの家庭に配るとか、何か貼るとか、そういうことを投入口別に第3スペックとして考えなきゃならないかなと、今、思っております。

それと、僕は169日というのはこれ非常に、利用者の皆さんにもほんとに御協力いただいて感謝してなきゃいけないのですが、やはり皆さんの努力は少しずつ実を結んで、こういうふうにしていけば少なくなるかなという気がしています。恐らくゼロにはならないでしょうけども、順次、適時に対応していくことが、これからのパイプラインを20年、30年もたせるためには非常に大切な活動なのかなと。そして、そういうことをする中で、パイプラインを大切に使わなきゃいけないと、皆さんの意識が変わったらいかなと、今、考えております。はい、以上です。何かございましたら。

司会	はい。それでは、次第に沿いまして、4番、パイプライン施設の年次報告についてということで、資料2、藪田から説明します。
市	<p>はい。芦屋市の藪田です。資料はお配りしています、左肩に資料2と書いてあるものです。</p> <p>廃棄物運搬用パイプライン施設の年次報告ということで、今まで様々な取組、この協議会等でもやってきましたけども、ちょっとここで整理しております。過去からやると膨大な量になりますので、平成30年の第5回の定例会、12月議会で、パイプラインの運用期間を定める条例というのを制定しましたが、そこから今現在までのデータ等を整理しました。</p> <p>順番に説明いたしますと、まず1番は、パイプライン施設年間基本データということで、ここは過去3かか年の実績を書いております。平成28、29、30年度の収集量、収集人口、その世帯、それと処理経費ということで2億ちよいの金額です。この処理経費については、その下にあります処理経費の内訳というところに、その内訳を書いております。上の表、最後、電力使用量についても記載しています。</p> <p>その下の表は平成29、30年度、2カ年になりますけども、先ほどの処理経費の内訳ということで、需用費、委託料、工事請負費、負担金、補償費、人件費等を書いております。</p> <p>この表の中で補償・補填及び賠償金のところ、平成30年度、630万という数字挙がっています。29年度はゼロですけども。これはパイプラインの輸送管の補修工事をやるときに道路を掘って取り替えるのですけども、そこで水道の配管が出てきまして、その移設の費用がこういう形で記載しております。</p> <p>2番のほうは運転状況ということで、条例施行後から、3月23日までのデータになりますけれど、輸送管の詰まりというのは8回発生しております。</p> <p>先ほども山口さんのほうから説明ありましたけども、利用者が原因のパイプライン詰まりゼロ期間ですが、これ23日までのデータですので、164日継続と書いています。今日現在では169日ということで延びていっております。</p> <p>その下、その他で先ほどの議題1でも話ありましたけど、貯留排出機スクリュウ型で異音トラブルの対応中ということになっております。</p> <p>次のページ、3番、輸送管の穴あき補修状況ということで、こちらは平成30年度、1年間に施工した分を記載しております。</p> <p>管の部分取り替え、道路掘削して輸送管を取り替えるというものにつきましては、浜風町、緑町、潮見町で5か所工事をいたしました。小補修、仮補修ということで、耐摩耗鋼で修理したり、水中ボンドで修理したり、鉄板を当て板で溶接したりというものが、浜風町、新浜町、若葉町、緑町、潮見町で13か所行いました。</p> <p>4番、利用者との話し合い。これも条例施行後からになりますが、本日も開催しておりますゴミパイプライン協議会、全部で8回開催しております。</p> <p>少し飛んで、その具体的な協議内容というところですけども、パイプライン運転報告、輸送</p>

	<p>管の状況、トラブルゼロ活動、今後の長期活動計画、利用者の会の住民説明会、アンケートの報告、電力量等のデータ検証、利用者の会の活動などを話し合ってきました。それと、(2)ワーキンググループですけども、こちら13回開催してきました。</p> <p>最後ですけども、ゴミパイプライン協議会で作成した主な成果物品ということで、この間、整理して作ったものとして、パイプライン施設の代替収集への移行完了までの長期活動計画ということで、別紙、後ろにつけています2枚ものになります。ホップ、ステップ、ジャンプで作ったものです。</p> <p>こちらにあります費用については、* 米印で書いていますけども、市の予算計上と必ず一致するというものではなく、こういう計画、考え方に基づいて進めていこうというものです。</p> <p>その後ろの資料、ホップ、ステップ、ジャンプにつきましては、以前もこの場で話ししてみんなで作ったものですので、これの説明は割愛させていただきます。</p> <p>条例施行後から今日現在までの取組をこのようにまとめまして、一旦、整理したというものです。こちらについては、この後、来週ぐらいですかね、市議会のほうにこれをお配りして見ていただこうかなと思っております。</p> <p>また、次年度には、31年度データを整理したものを作っていこうと思っております。私のほうからの説明は以上です。</p>
司会	はい。それでは、この年次報告について、何かある方いらっしゃいますでしょうか。
利用者の会	ちょっと聞きたいのですけど。
司会	春木さん。
利用者の会	今、来週ぐらいに市議会に配って見てもらうということですけど、これは例えば、その審議会、廃棄物減量等推進審議会とかありますね、民生文教とかの。そういうようなところでこれを報告するということはないわけですか、説明する。
市	そうですね。市議会への説明ですね。それも考えたのですけども、今回ちょっといろんな時期とかタイミング的に合わないというのもあるんで、今回は資料の配布で考えています。
利用者の会	資料の配布。条例が決まったときね、市長やったか、副市長やったか忘れたけど、今後遵守していく必要があるのに加えて、毎年これをチェックしていきますみたいなことを言われたから。それやったら、そういう市議会でね、これを報告することが決まっているのかなと思ったんですけど、それは別に決まっちゃいないわけですね。
市	やり方については何らかの形でというような発言だったと思うのですけど、市議会へ報告する方法って幾つかございまして、今回は色々あってこういう方法で。
利用者の会	色々あってね。
市	はい。
利用者の会	今回は。
市	はい。今後は、またそのときそのときで、何か説明したほうが良いような内容があれば所管事務調査等を開いていただいて説明するとか。特に何もなければ、また資料のみで報告



	するとか。それはまた今後考えていこうと思います。
利用者の会	平成31年、令和元年、これが条例であれ決めたスタートの年になりますね。これは最初のあれかも分らんけども。
市	ええ。
利用者の会	令和元年度が最初の1年目になりますのでね、それが、あのとき、たしか45年間の評価を出されていますね。45年間使ったときに、あれ第三者委員会か、あそこで45年間比較評価でいうて出されておりましたよね。それで、その条例化に決めるときも、45年間で今後続けていった場合、ほんで15年から20年、30年でやめて、あとは収集車で行った45年間、その費用でいうのをもうオープンにされている。そこで説明されましたよね。たしか341億と85億ぐらい。
市	そうですね。
利用者の会	これで恐らく市長とか議員さんなんかは皆よかった、よかったと思うのやけど、それからその辺もあるんで、十分その辺ね、こんなこと言うたらあれかも分らんけど、うまく、うまく、議員さんもやっぱり皆よくやってくれているなと感じるようにね、できる限りこのまとめるときにお願いしたいと思いますわ。
市	そうですね。
利用者の会	利用者の会の委員長とこっちとね、がちと固まって、経費節減やら環境改善やら、いろんなね、作業員の軽減やとかね、というようなことも含めてね、やってほしいなと思いますわ。例えば、集団回収の実態調査を書いてもらっていますけどもね、これはやっぱり分別の徹底ですね。やっぱりパイプラインに新聞、株式の新聞やとか、あんまり言われたいけど、雑誌なんかもね、入って詰まらすと、そういうやつもやっぱり資源回収の方向でね、やってきているようなこと。それで、ごみも減ってきていると。ちゃんとごみの量も出ていますね、世帯数も出ています。ごみの量が減ってきていますと。ということは、煙突からのCO2放出しとんのが減っているやないかというようなことを含めて、ここはやっぱり、うまくね、毎年毎年、うまく言うたら、ちょっと言葉が悪いけど、市長や副市長や議員の皆さんによくやっているなと、現実にはやっていますからというようなこともアピールすることも含めて、よろしくお願いしたいなと思います。以上です。
司会	はい。野村さん。
傍聴者	利用者の会の野村です。代替案の話ですけども、具体的にはアドレス別のごみの発生量を把握しましょうということだけで具体的に何も含んでないのですけども、来期、何とかアドレス別のごみの発生量をどうやって形にするかとか、満杯運転でどれだけあるかとかで追えるのか。どうやってこれを具体的にしたらいいかいうのをグループAで来年、来期の中で検討して、ある程度の数字が持っていける値が出ればなど。 ベースとしては浅田さんがこしらえていただいて、世帯当たりどれだけ出るから、どれぐらいの数値だろうという推定数字はあるのですけども、それと具体的な数字とはどういうずれがあるのかとか、そういうことをどうやって調べたらいいかというものを皆さんで話をしたいなと思っています。

市	はい。
傍聴者	来期1年間かけて、それで分かるのかどうか分かんないけども。
利用者の会	<p>すいません。また、どうも言いたくなってしまうて、しゃあないけど。春木です。</p> <p>今の野村さんからお話、これも今、添付してもらっている第1ステップにね、代替案の検討と書いているわけです、具体的にね。これはもう2019年4月、去年の4月からスタートして入っているわけですね。ほんで、御存じのように、ここにおられる人は10年たったら80越えてなんでね、やっぱり今のうちにね、ここにおられるお年寄り言うたら怒られるけど、私も含めて、元気なうちにね、やっぱり、その辺のプロの方もおられますからね、この辺の意見を聞く中でやっぱり推進して行ってほしいなと思っています。これほんまに、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>ほんで、聞いた話やけど、この4月1日の人事異動で県のほうかな、県のほうがもう出ているようなこともちらっと聞いたのですが、今ここにおられるメンバーは替わるような可能性はないですか。</p>
市	人事異動ですか。
利用者の会	はい。
市	先日、発表がありまして、このメンバーは替わりなしです。
利用者の会	替わりなし。
市	はい。
利用者の会	よかった、よかった。替わるときにはぜひこの辺をね。
市	はい。
司会	はい。それではよろしいですか。
利用者の会	<p>利用者の会の大田です。先ほど野村さんとか春木さんが言われましたけどね、やっぱり我々利用者の会のメンバーもどんどん年をとってくるということで、早く代替案に関して決定を、検討の着手をしていかないといけないのじゃないかというふうに考えていますので、その辺のところをよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>で、文書に書いていましたけれども、海外の状況とか、日本の状況とか、他市の状況とかそういうのもどんどん、やっぱり調べていかないと、スクリュウの問題じゃないけどね、ずっとこの状態で行くと、いつ着手できるのだというようなことも我々としても心配しますので、市のほうとしても、その辺のところを十分研究していただいて、検討の材料として提案していただきたいというふうに思います。</p> <p>それとちょっと話が変わりますけれども、平成30年度施工分として輸送管の穴あき補修状況、管の部分取り替え5か所、小補修・仮補修13か所ということになってはいますが、経費の部分で平成30年度の工事請負費約4,200万ということで、29年度に比べたら49.4%ということでもかなり減ってるわけですが、これは今さっき言った5か所と13か所の補修、取替えということの金額というように捉えてよろしいか、4,200万は。</p>
市	はい、そうです。この箇所ですけど、29年度が多いのは、28年度工事の繰越分、緑町の

	工事の繰越部分があって、この29年度だけ多くなっております。
利用者の会	前年比49.4%ということになっていますけどね。
市	はい。30年度は、ここに書いてある浜風町、緑町、潮見町、この5か所、13か所ですね。
利用者の会	今後どんどん老朽化が進んでいけば、この辺のところの数字というのは常に変動するものと。
市	変動しますね、はい。
利用者の会	そういうことで見とったほうがいいと。
市	そうですね。やっぱり、あと、この下に書いている補償費ですね、この水道設備移転補償とか、要するに掘っていくといろんなもの、ガス管、水道管、雨水管、下水管など出てきますので、その補償費というものにもよりますし、やっぱり変動はしていくと思います。
利用者の会	分かりました。
利用者の会	すいません、春木です。ちょっと、今のことがあったから思い出したんやけど、輸送管の予備は、今年度、大分使こうたと思うけど、もう予備は買うたんかな。
市	耐摩耗鋼の話ですか。
利用者の会	そうそう。
市	今年に関しては年度当初に、昨年度のカメラ調査の結果を踏まえて、必要な数量買っています。また、今年度もカメラ調査やっていますので、また。
利用者の会	また買う。
市	はい。
利用者の会	はい。
司会	はい。では、議題の5番、その他。山口さんお願いします。
利用者の会	<p>はい、利用者の会の山口です。</p> <p>2点あります。1点は、御存じのように木寺委員が芦屋浜から引っ越しされましたので、近くですけども、辞退したいということで、御連絡が入っております。後任は、これから検討したいのですが、利用者の会もコロナの問題で開いていけませんので、もう少し時間かかると思いますが、後任を探してみます。</p> <p>木寺さんからいただいた資料に関しては、一応、今のところ木寺さんに保管してもらって、我々のこの情報は絶えず木寺さんにも入れようということで話し合っています。</p> <p>2番目ですけども、この間、芦屋市から家庭用ごみハンドブックというのを更新されて私たちの家庭に配られました。いろいろ御苦労さんだというのは思います。それに対する感想はまた、利用者の会でも一度話してみますけど、こういう点がよかった、悪かったとか、ここをどう改善したらよいかとか一度話し合っ、市のほうには出させていただくかなと思っています。私の個人的な意見では、年間予定というは、別紙でありますよね、あれ、ハンドブックとは別にね。</p>

市	ごみカレンダーですかね。
利用者の会	<p>カレンダー。あれ非常に見やすいと私自身は思いましたので、御苦労さんだなと思いました。</p> <p>後は、これはなかなか難しい話なのですが、ターゲットが誰なのだろうという気がしたのですね。で、芦屋市は恐らくオールマイティで全部にターゲットされると、私自身もそうなのですが、これも入れたい、あれも入れたい、これも伝えたいとどんどんボリュームが厚くなるのですね。で、宝塚市のハンドブックを見ていたら、結構思い切って、おじいちゃん、おばあちゃんとか、ごみをよく捨てる人というのは限られていますので、そういう方にターゲットを絞って、ほとんど文字じゃなくて絵で伝えている。だから、腹をくつたなという感じがしているのですが、次のステップとしては、その辺も1つ、今後ね、もっと使っていただくためには、どうしたらいいのかという視点から、情報の中身を一度。</p> <p>それから途中で、分別のあれが今回追加されましたよね、一覧表。</p>
市	早見表みたいなやつですかね。
利用者の会	<p>そうそう。あれも何かあったときにあの早見表を見てくださいという表で。ほんとに御苦労さまでした。はい、その2点です。</p>
司会	<p>はい、それでは6番、今後の協議会等のスケジュールということですけども、協議会とか、ワーキンググループの開催日につきましては、この新型コロナウイルスの状況がまだ読めないところがありますので、これからこの状況を見ながら決めていくつもりです。</p> <p>現在のところ、一応、次回の協議会は5月30日土曜日10時から考えております。これも、ちょっと状況を見極めながら、また御連絡をさせていただきます。</p> <p>あと、もう1点、林のほうから。</p>
市	<p>芦屋市の林です。ちょっと1個だけ、御報告だけさせていただきますけども、今、委託業者さんの高砂丸誠エンジニアリングさんが会社名変わることが分かりまして、4月1日からティームスという会社に。</p>
利用者の会	えっ。
市	ティームス。
利用者の会	ティームス。
市	ちょっと書きます。社名が変わるだけです。高砂丸誠のT。
利用者の会	ああ、丸誠が変わるということ、丸誠の。
市	それを英語にただけです。
利用者の会	ああ、丸誠が変わるということやね。省略した。
市	TMES。
利用者の会	TMES。
市	丸誠エンジニアリングサービスです、略しただけです。ティームスと読みます。
利用者の会	ああ、そうか。高砂。

市	テーマス。
利用者の会	高砂、高砂丸誠。
市	エンジニアリングサービス。
利用者の会	エンジニアリングサービス、ややこしいな。
市	テーマスです。
利用者の会	いつからなのですか。
市	4月1日です。
利用者の会	丸誠。何で変えたの。
市	理由まではちょっと。点検とかの車に、このTMESって書いています。会社名だけ変わります。人とかは全然変わりませんので。ただ、会社名だけの変更ということを聞いております。また、よろしく願います。
利用者の会	申し訳ないのですけども、ステップ1のところ、ゴミビジョンの提案活動というところで、燃やすごみの日に、紙・布類・不燃物が約50%を占めていると。燃やさないごみの日で、缶の日、瓶の日、その他の品の対象外のものが20から30%含まれて分別できていないというふうに書かれておるのですけども、その辺のところは、特にこの地域があまりできてないよというようなことがあればね、先ほど山口さんから言われたように、特に問題の発生したところ、問題のあるところに関しては、そこの町の自治会を通じて啓蒙活動をしていく必要があるのではないかとこのように思いますけども、その辺のところはいかがでしょうか。
市	やっぱりいろいろ分別ができてないとか、例えば参考書みたいなんをたくさん投入口に入れてしまうとかというのはやっぱりあります。だから、それを捨てた人を見つけて、私と林のほうで特定できればと思いますし、できない場合に関しましては、同じように置いて啓発したりとか、そこのマンションとかの管理会社のほうに話をしあって、こういうことがありましたという説明をしています。
利用者の会	我々としてはできるだけ。
市	ただ、その50%とかというのは、ここのごみピットで、ごみの分析をして出てきた値になりますので、どこの地域というのは、なかなかちょっと分かりにくいのですけども。
利用者の会	その辺のところで収集係の人らと、ある程度その積み込むときにこういうのが入っていたというようなことがあれば連絡でも。
市	そうですね。その辺も収集のほうもある程度気にしてくれていますし、あと展開検査といまして、パッカー車を開けて異物が入ってないかというチェックもしていますので、少しずつは改善していると思っております。
利用者の会	収集する人は、その時々でやるのは非常に時間的に難しいのかな、こんなもん入ったよとか。
市	収集の人は、こういうステッカーを持って回っています。で、収集日が違いますとか、分別が不十分ですとか、捨てちゃいけないものですか、いろいろチェックするところがあって、収集

	の人たちも、例えば出しちゃいけないものがあると、このシールにチェックして貼って、収集しない、置いて帰るといったことをやっていますので、その収集の人が気づいたときには、対応してくれています。
利用者の会	例えば、ある地域が特に、そういうシールを貼る機会が多いということでも分かればね、自治会を通じて情報を、いわゆるそこに配って注意してもらおうということも可能だと思うのですが。ごみにそれを直接貼って置くのも1つの手でしょうけども、地域として、やっぱり今後改めていく必要があるなら、その自治会会長を通じて、自治会ニュース等で知らせるのも1つの手かなというふうに思いますので、検討いただきましたら。
利用者の会	これはすごく大事なことだと思いますよ。市としても問題になっていると思うのですよ。いわゆる地球環境に取り組む意味でもね。現に廃棄物減量等推進審議会のテーマになっているかも分らんけど、その対応も兼ねてね、詰まったときには、何や雑誌やとか新聞やとか、そういう再生資源を、缶もあるか分らんけど、それ現物表示するというのも分別の徹底の対応の1つですね。 それと、さっき説明されたけど、利用者の会がやっている集団回収の実態調査。これも対策の1つやね。集団回収したら、自分とこの自治会、組織のお金として入ってきますよ、こんな、こんなありますよ。どこの業者やとか山口さんにまとめてもらったけど、これもその対応の1つなんやね。そやから、ちゃんとこのときに出して、自治会としてお金が入ってくるのやから、これを推進してやというの、これも分別徹底の1つになっていると思うのですよ。そやから、この辺もこれが最初の一步で、やっていますよというのをアピールしてほしいというのは最初言いましたけども、その辺の1つの、これ非常に大きな問題やと思いますよ。よろしくお願いします。
傍聴者	利用者の会の野村です。芦屋市のごみ袋の有料化か何か、そういう方向というのがあるのですか。
市	有料化までするかどうかも含めて検討していこうとしています。
傍聴者	検討中ということ。
市	指定袋ですね、今は何の袋でもいいよという状況ですけども、何々市って書いてある袋で出してもらって、近隣市でもあるんですけど。あとは透明であつたらどんな袋でもいいよってするとか、今言っていたように有料化にしちゃうとか、いろいろやり方はあるんですけど、芦屋市にとって何がいいのかをこれから検討していくと。この令和2年度に予定しています。
傍聴者	それはパイプライン地域に関しては、ちょっと話ははずしといたほうがいいわけですか。
市	パイプライン地域も含めて。
傍聴者	何か、その、それをもしするということであれば、もうグループAで今話することじゃないですから、何か、もしそれやったら何を話しているのか無駄な話になると思うので、私個人的な意見ですけども、何でCO2を増やすことを今さらやらんとかかんねんやと、こうなると思うので。それは、もしその話があるのであればグループAで前へ進むようであれば議論したい。
市	パイプラインやから、しなくてもいいのかというと、それはちょっと違うとは思いますが。

傍聴者	つまり、入れたら、着くまでにもうばらばらで何も無いわけでしょ、袋は。
市	<p>おっしゃることは分かるのですが、今回、議会でもう施政方針でそれを出しました。それに対して質問が複数あったわけですが、指定袋を導入するのは結構だけでも、導入に関しては否定的な質問は議会ではなかったのですよ。</p> <p>ただ、おっしゃるようにパイプライン地区をどうするのだという、これについて質問がありました。で、公平性に欠けるとかね、有料化まで言っているわけじゃないですけど、これを有料化とかいうことまでなればなおのこと、その扱い、パイプライン地区をどうするのだと。パイプライン地区はパイプライン地区の特性がありますので、それは別途考えないといけないねということで、そういうところで答えはとどめているのですが、ですので、その問題につきましても今後皆さんとご相談をさせていただくことになろうかとは思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
傍聴者	野村ですけどね、その方法論だと思うのですが、もし、その有料化であればね、もう皆、利用者が、利用している者がお金を払うということだったけど、そんな袋作ってね、今、レジ袋廃止しようとしていて、そういうCO2の問題と両方考えたときにね、全く逆行するようなことをね、パイプラインのところで実行して僕は意味があるのかどうかというふうに。それも入れて、その入れた部分によってパイプラインが長もちするとか、何か意味があるのだったらいいのですが、公平性って何が公平性を取るのか、これ個人の価値観ですから違うでしょうけども。その辺のところを、今、これ以上話しても時間がたつと思いますので、また詳しくは後で、後日話をしたいと、それが進むようであればね。
市	まず市として、これから検討するという段階ですので、まず我々のほうで検討させていただいて、その過程では皆さんにも御相談させていただきますけどまず、たたき台を作って、それから話し合いをさせていただくということになっていこうかと思えます。当然、今のような御意見も出てくるとは思っていますので。
司会	はい。よろしいでしょうか。それでは、1時間になりましたので、これで第29回ゴミパイプライン協議会を終わらせていただきます。今日はどうもありがとうございました。

以上